



住吉小学校



正門より玄関を望む

(令和7年5月1日現在)

所在地	〒558-0052 住吉区帝塚山西4-1-35		
電話	06-6672-6001	FAX	06-6672-6103
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e731661		
校長名	生嶋 雅人		
児童数	326名	教職員数	46名
学級数	19学級(うち特別支援学級7)	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

人間尊重の教育を基盤とし、「生き抜く力」を育む教育活動を推進する

校長メッセージ

住吉小学校は、明治41(1908)年に創立し、今年度で118年目を迎える伝統のある学校です。本校は、「自分を大切に、周りの人たちと共に未来を切り拓く子ども」の育成を学校教育目標の中心に据え、人間尊重の教育を基盤とした「生き抜く力」を育む教育活動を推進しています。ちがいを認め、互いに高め合える仲間づくりのためには、自分が大好きな子どもたちを育むことが必要です。そのために、我々教職員一同は子どもたちを大いに褒めていきます。そして、保護者、地域の方と共に歩み、より良い住吉小学校を実現できるよう、邁進いたします。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

学校協議会会長メッセージ

住吉小学校学校協議会では、一人一人の子どもたちが健やかに成長できるよう、学校に協力しています。そのため、すべての子どもを大切にしたいという保護者や地域住民の願いが教育活動に反映できるよう、学校行事にも積極的に参加しています。特に、登校時における子どもの見守り活動には力を入れています。子どもたちの「おはようございます」「ありがとうございます」という挨拶には、こちらも元気をもらっています。また、学校の教育活動や子どもの様子についても、積極的に地域に発信し、地域のみなさんにも学校に関心をもってもらえるよう努めています。子どもは地域の宝です。学校に対するみなさんのご支援とご協力をお願いいたします。

▶▶ 運営に関する計画

【安心・安全な教育の推進】

学校生活アンケートにおいて「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の項目で、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

学校生活アンケートにおいて、「『自分』『友だち』を大切にしていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。

小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の5割以上にする。(ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)

学校生活アンケートの「自分の地域を大切にしている」の項目で肯定的な意見を90%以上にする。

未来を切り拓く住吉小学校の教育

*本校ホームページもご参照ください。

確かな学び

○ICT機器を活用した授業づくり

一人一台端末や大型モニターを活用した授業を推進し、児童が「できた・わかった」と実感できるよう、全教職員で研究に取り組みます。また、ICT機器を活用した協働的な学習やデジタルドリルを活用した個別最適な学習をすすめ、児童の学力向上に努めます。

○協働的な学び

日々の授業において、協働的に学ぶことを大切にしています。ペア・トークやグループ学習による課題解決に向けた「学び合い」、思考ツールを活用した交流活動での考えの「練り合い」など、「主体的・対話的で深い学び」をめざしています。



支え合う仲間

○学年・学級集団育成

学級・学年での活動だけでなく、様々な学校行事を通して仲間づくりに取り組んでいます。「自分を大切にする心」「友だちを大切にする心」を育むために児童の発達段階に応じた人権学習に取り組んでいます。

○「にじいろ班」活動

1年生から6年生で縦割り班を編成し、異学年集団による児童集会や遠足、お店屋さん活動など様々な活動を行うことで、上級生は下級生のお世話をする思いやりの心、下級生は上級生に対する感謝とあこがれの気持ちを育んでいます。



地域との協働

○ブックハウスの活動

地域・一般の方も利用できる図書館(ブックハウス)は、司書や地域・PTAのボランティアの方の協力により、毎日開館しています。きれいに整備され充実したブックハウスには、開館時間になると、本を読むことが好きなたくさん子どもたちが集まります。

○地域との交流・「見守り隊」

生涯学習ルーム受講生のみなさんと年間数回交流する場面を設け、給手紙や工作などを教えてもらっています。また、保育所・幼稚園とは生活科の授業や給食、中学校とは授業・部活動体験などで交流を行っています。また、登下校時には「見守り隊」や「PTA安全サポーター」が児童の安全を支えてくださっています。



▶▶ 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状(調査対象:令和6年度の小学6年生)

【平均正答率(%)】

国語	算数
61	52

【結果の概要】

国語では大阪市平均より若干低い平均61ポイント(大阪市66、全国67.7)であった。設問ではオンラインや情報に関する問題の正答率が高く、ICTを日常的に活用している成果があらわれている。

算数科では、大阪市平均を下回る52ポイント(大阪府62、全国63.4)で苦手意識がうかがえる。

質問紙調査では、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「友達関係に満足していますか」という質問に対して肯定的な回答が全国平均を上回った。

▶▶ 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(調査対象:令和6年度の小学5年生)

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	14.96	20.04	32.43	37.74	34.59	9.82	136.22	19.48	47.86
女子	14.33	18.76	37.12	37.36	30.28	10.09	129.40	13.12	50.08

【結果の概要】

本校5年生男子の体力合計点は47.86で、大阪市平均(51.13)や全国平均(52.53)を下回った。上体起こしや長座体前屈については市や全国の平均に近い数値を示しており、バランスの取れた体力の向上が求められる。

アンケート結果からは、「運動が好き」と答えた児童は69.6%で、全国(73.0%)や大阪市(74.3%)と比べてやや低いものの、「やや好き」と答えた児童は26.1%と多く、全体として運動に対して前向きな姿勢が見られた。また、「運動が嫌い」と答えた児童は0%であり、運動自体への苦手意識はないものと考えられる。

【P75に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】